



成熟に向かっている私たちの社会。高い品質の信頼されるブランドが求められるようになったのは、グローバル化が進み、消費者が広い選択肢のなかから自由に商品を求めることができる時代になったからだろう。

県内の宝飾業界で現在進められている「産地ブランド化」の取り組み、「Koo-fuプロジェクト」(山梨県宝飾連合会、甲府商工会議所)は、経済産業省が支援する「JAPANブランド育成支援事業」の一つ。まずはその名前からして、ジュエリー産地・甲府をイメージさせる印象的なネーミングとなっているように、「Koo-fuプロジェクト」は、単なる商品ブランドではなく、「宝石の街甲府」そのものをブランド化する「産地ブランド化」の取り組みを行っていく。山梨がジュエリーの産地として信頼されるブランドとなるためには、伝統的な技術や素材など山梨ならではの特性を生かす必要



があるとともに、宝飾産業に関わる人々の姿勢や意識も大切な要素となる。

そして、「宝石の街甲府」の持つブランド性をベースに、商品開発から人材育成、情報発信までが複合的に展開され、最終的には、各メーカーそれぞれが自社ブランド化を図っていくことを目的としている。

「Koo-fu」のブランドイメージをPRするため、世界を舞台に活躍している著名な工業デザイナーがトータルプロデューサーとして、各メーカーのデザイナーも自社の特色を生かしたユニークな提案を行う「Koo-fuコレクション」の取り組みも現在行われている。

地場産地としての歴史を背景に、最新のデザインと伝統ある技術を融合させることで成立する山梨の地域ブランド。

地元メーカーが商品化したブランドジュエリーが、世界のどこかで恋人たちの胸元を飾るのもそう先のことではない。

## 未来へ向けた「産地ブランド」戦略が進む



直径約21センチの天然水晶丸玉



繊細な加工技術による水晶彫刻

らだ。在来の手技に最新の加工技術も導入され生産は飛躍的に増大した。今なお、社名に水晶の名を残すメーカーも少なくない。宝飾品の産地化には、県産品販売に全国くまなく行脚した甲州商人の努力もまた欠かせなかつた。贅をつくした水晶細工や美しいネックレスは、まさに、山梨の大地と甲州人気が生み出した装飾品であった。

戦後の経済成長とともに、豊かな生活の象徴として楽しまれるようになったジュエリー。伝統的な宝石研磨技術に加え、最先端のハイテク技術や大量生産可

能な鑄造設備も各メーカーがいち早く導入。昭和56年(1981)には県立宝石美術専門学校が創られ、ジュエリー産地ならではの人材育成が図られた。また官民一体となり、加工やデザインの技能を認定するジュエリーマスター制度により技術の向上とデザインマインドの確立も積極的に進められ、今やリング、ピアス、イヤリング、ブローチ、ネックレス、ブレスレットなど、ほとんどのアイテムを生産できる一大集積産地を形成、世界のジュエリーマーケットのなかで山梨をアピールする時代になった。

## 伝統の水晶から生まれた宝飾産業

# JEWELRY

国内ジュエリー生産の約1/3を誇る山梨県。

人々もまた「宝石の街甲府」「貴金属の山梨」と親しみを込めて呼んでいる。

古くから「金の産地」として知られた甲斐の国。

金峰山を中心とする盆地北部の山々からは天然の水晶が採れた。

職人技で研磨された水晶玉や

伝統の水晶彫刻の時代から最新の技術を導入した装飾品に、

そして暮らしを豊かに彩るモダン・ジュエリーの全盛期に。

今や地域や業界が一体となったデザイン戦略で、

世界を視野に入れた産地ブランドの確立が急がれている。



## 山梨の大地と甲州人気が生み出したジュエリー

デパートや宝石店のショーウィンドーに、クリスマス・ジュエリーが飾られる頃、山梨の宝飾メーカーでは、はや来季の準備に忙しい。新春を迎えるとももなく東京で開催される日本最大のジュエリーフェアには、山梨からも多くのメーカーが出展する。新しくデザインされたジュエリーは、春夏にかけての流行の重要な位置を占める。そして春恒例の「甲府ジュエリーフェア」には、国内外から多数のバイヤーが山梨を訪れ、活発なビジネスが展開される。

山梨の宝飾産業の歴史は古く、秘宝として尊ばれた水晶玉の研磨にまでさかのぼれば、今から二、三百年とも言われる。昇仙峡の奥山から採れる水晶原石を使って研磨が始まり、享保年間(1716~1735)には金桜神社に「火の玉」「水の玉」など五つの水晶玉が奉納されていた。天保五年(1834)には、京都の玉商人、玉屋弥助によつて手磨りの水晶研磨の技術が伝えられた。名産の水晶は、信仰の対象からやがて印材や身近な装飾品へ。水晶研磨を基にさまざまな金属加工の技術を集積して、簪(かんざし)、帯留め、指輪など美しい装飾品の製造が長く続けられた。大転機となったのは、大正時代に枯渇し始めた県産水晶に代わつてブラジルから多量の水晶原石が輸入されるようになってか